

II 特別連載 II

科学技術 振興機構 『さくらサイエンスプログラム』友情と感激

第321回

さくらサイエンス・ハイスクールプログラム

2年ぶりに再開、第一陣の高校生アジア3カ国から来日

コロナ禍で実施が延期されていた「さくらサイエンス・ハイスクールプログラム」が2年ぶりに再開した。その第一陣としてインドネシア、ネパール、ミャンマーの3カ国から高校生と引率者、計18名が来日した。9月25日から10月1日までの1週間、高校生らは大学・研究機関の訪問、ノーベル賞（2008年、ノーベル物理学賞受賞）の小林誠博士による講義、そして日本の高校生らとの交流など充実した時間を過ごした。

国立天文台、JAXA、

東大で先端研究を学ぶ

オリエンテーションを終えた2日目から、本格的にプログラムはスタート。まず、東京・三鷹市にある国立天文台を訪問し、「すばる望遠鏡」など、国立天文台が行っているプロジェクトを学んだ。午後はJAXA調布航空宇宙センターを訪れ、スペース・ミッション・シミュレータで宇宙ステーションへの模擬操縦などを体験。さらに、深大寺では日本の文化にも触れることができた。

3日目は東京大学の駒場・本郷の両キャンパスを訪れた。駒場では国際色豊かな東大のPEAK（学部英語コース）についての説明を受け、授業をすべて英語で受けられると知って、日本への留学意欲が増したようだ。

同大のジョナサン・ウッドワード教授からは「Animal Magnetism」の講義を受講。「なぜ渡り鳥は元の場所に戻ってこられるのか？」など、生物が持つ磁場センサーについての興味深い内容に高校生らは熱心に聞き入っていた。さらに研究室では、さまざまな実験機器が並ぶラボでの説明を聞きながら、盛んに質問を投げかけた。

本郷キャンパスでは、小柴昌俊特別栄誉教授のノーベル賞受賞（2002年、ノーベル物理学賞受賞）を記念して設立された「小柴ホール」を訪れた。2つのキャンパス訪問で、高校生らは自分たちの大学生活のイメージをつかんだようだ。

日本の高校生と

グループワークで協力

4日目はスーパースイエンスハイスクール（SSH）の一つ、さいたま市立大宮北高等

プログラムスケジュール	9月25日	訪日
	9月26日	国立天文台、JAXA調布訪問 日本文化体験（深大寺）
	9月27日	東京大学（駒場、本郷キャンパス）訪問
	9月28日	さいたま市立大宮北高等学校訪問
	9月29日	高エネルギー加速器研究機構訪問 ノーベル物理学賞受賞・小林誠博士による特別授業
	9月30日	水素情報館「東京スイソミル」、日本科学未来館訪問 修了式
	10月1日	離日

学校を訪れた。一行を迎えてくれたのは、理科科で学ぶ大宮北校生41名と3名の留学生（台湾・イタリア）。交流会はすべて大宮北高生の司会で進行し、使用言語はもちろん英語のみ。学校紹介など心を込めて準備してくれた様子が伝わってきた。日本のアニメ紹介では「知ってる！」との歓声もあがった。そして3カ国の高校生と大宮北高生が混合でグループに分かれ、「ゴムの弾性力を用いたシャトル飛ばし装置の開発」に挑戦した。輪ゴムなど身近な材料で、バトミントンのシャトルを飛ばす装置を考案・作製するワークショップで、各グループとも真剣な表情で取り組んだ。

その成果を競うコンペティションでは、高校生らは発射されたシャトルの行方に一喜一憂しながらも、大いに盛り上がり、お互いの絆がぐんと深まったようだ。

## ノーベル物理学賞の 小林誠博士が特別授業

5日目はつくば市の高エネルギー加速器研究機構 (KEK) を訪問。宇宙誕生の謎を解明する、いわば「ミニビッグバン」を作り出す施設に、その大きさと地下トンネルに設置されているさまざまな装置に高校生らは圧倒されていた。

そして小林誠博士による特別授業が始まった。「CP対称性の破れ」というノーベル賞受賞テーマで、高校生には難解かと思われたが、さすが理系の彼ら。「ビッグバンの時、粒子と反粒子が同じだけ生まれたのに、今は粒子だけで反粒子がないのはなぜか？」など次々と質問の手が上がり、KEK職員も「高

校生なのにすごい」と感心するほどだった。最終日の修了式は科学技術振興機構 (JST) の大会議室で行われた。来賓として各国大使館関係者も出席するなか、各国の高校生代表は、「今まで過ごしたなかで最高の一週間だった」「日本は科学技術の先進国というのは知っていたが、実際に自分の目で見るとなれば上だった」「日本の高校生たちと一丸となって挑戦したワークショップはすばらしい経験だった」と目を輝かせながら、プログラムの印象を語った。

「またいつの日か、留学生や研究者として日本にきたい!」。口々にそう言いながら、高校生らは名残惜しそうに会場を後にした。今年度はあと4回、さくらサイエンス・ハイスクールプログラムが実施される予定だ。



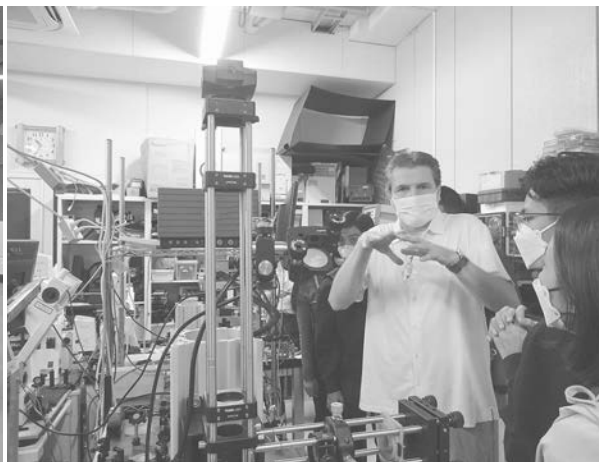
「CP対称性の破れ」について講義する小林博士



大宮北高校生とのグループワーク



修了式においてプログラム参加者全員で記念撮影



ウッドワード教授の研究室訪問